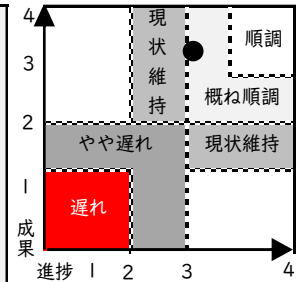


# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	1	魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	
	市民一人ひとりが安全で快適な生活を実感できるよう、利便性の高い市街地を形成することにより、まちの魅力や住みよさの向上を図ります。 また、市営住宅の維持管理や更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、既存の住宅の耐震化や空家等対策に取り組むことにより、快適な居住環境の形成を推進します。		
担当課	市民連携室、都市計画課、建築課		



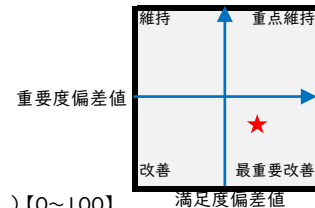
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	8.2			28位/32施策
重要度	0.528			5位/32施策

改善度	14.21
	(3位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
用途地域内の未利用宅地面積	245万㎡ (H27)	↘	用途地域内の未利用宅地面積	240万㎡	237万㎡	237万㎡		B
市営住宅入居率	84.9% (H28)	↗	市営住宅管理戸数のうち、入居戸数の割合	82.7%	81.3%	82.2%		A
市営住宅の自動給油設備の設置戸数	760戸 (H28)	↗	市営住宅で自動給油設備を有する戸数	920戸	940戸	940戸		B
住宅の耐震化率	80.3% (H28)	↗	住宅総数のうち、耐震性を有している住宅の割合	次回数値更新はR3	次回数値更新はR3	-		-
多数の者が利用する施設の耐震化率	90.5% (H28)	↗	一定規模以上の学校、病院、社会福祉施設等の建築物のうち、耐震性を有している建物の割合	次回数値更新はR3	次回数値更新はR3	-		-
特定空家等の除却等の件数	0件	↗	保安上危険な状態の空き家等の除却件数	12件	26件	18件		C
空家等の活用等の件数	0件	↗	空き家バンクにおける空き家等の活用件数	18件	13件	16件		A
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		3.2	A	

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域内未利用宅地面積については、商業系用途地域を住居系用途地域に見直す等の取組により新築が増加したこと等により減少(R1:2,373,273㎡→R2:2,373,231㎡)してきている。</li> <li>・市営住宅入居率は、団地の用途廃止により管理戸数が減少したため、入居率が上昇した。</li> <li>・令和2年度は、記録的な豪雪が大きな要因となり、管理不全空家が前年度比83件増の332件となった。しかしながら、適切なパトロールの実施により、管理不全の状況を迅速に把握し、所有者等への助言や指導を行うことで、管理不全の是正件数は111件、除却件数については18件となった。</li> <li>・特定空家等の除却件数は、前年度の除却件数を下回っているが、空き家計画の目標数値である除却件数年間10件は上回った。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩見沢市都市計画マスタープランを基に、用途地域の見直し(純化)や、都市計画道路等都市施設の整備を進めることにより、快適な居住環境の形成に取り組んでいる。</li> <li>・老朽化した市営住宅の除却を進めるとともに、既存住宅の維持・改善を図った。</li> <li>・条例に基づく指導及び所有者等の自主的な除却に加え、「岩見沢市不良空家除却補助金」の活用により、計画の目標数値である5年間で50件(年間10件)以上の特定空き家等の除却をすることができた。</li> <li>・除却件数の内訳としては、岩見沢市不良空家除却補助金の利用が9件、所有者の自主的な除却が9件の合計18件であり、空き家計画での目標数値である年間10件の除却を達成するために補助金は大きな効果を上げている。</li> <li>・管理不全空家の通報等により1,500件の現地確認をはじめ、所有者への指導書(467件)の送付など行い、記録的な豪雪の中でも人的な被害はなかった。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	【内部評価】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用途地域内の未利用宅地面積は減少傾向(R1:2,373,273㎡→R2:2,373,231㎡)にあるが、岩見沢市の人口は減少傾向にあるため、社会資本を効率的に整備し、市街地の規模や密度、土地利用方法の適切なコントロールが必要。今後は用途地域の見直し(縮小)や特定用途制限地域の指定等について検討を進める。</li> <li>・岩見沢市住生活基本計画に基づき、総合的な住宅施策の推進を図る。</li> <li>・公営住宅長寿命化計画に基づき6条中央団地の建替を実施するとともに、老朽化した市営住宅の改善を効果的かつ効率的に進める。</li> <li>・老朽化が進み、周辺環境に影響を及ぼす可能性のある空き家が増加傾向にあり、「岩見沢市空家等対策計画」に基づき空家等対策を推進していく。</li> <li>・「岩見沢市不良空家除却補助金」の周知が課題となっており、市広報誌への記事掲載を継続しながら、市で把握している登録空き家の所有者へのパンフレット送付、また宅建協会にも協力を依頼し、広く補助金制度の周知を図る。</li> </ul>

### 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
市民連携活動事業 【市民連携室】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理不全空家数 332件(R3.3月末現在)前年比83件増/249件(R2.3月末現在)</li> <li>【R2年度実績】・通報件数 221件 ・現地確認件数 1,500件</li> <li>・所有者への指導件数 467件 ・指導による是正件数 111件</li> <li>【R2不良空家除却補助金実績】・事前申請件数 28件 ・補助金対象件数 10件</li> <li>・補助金交付件数 9件</li> </ul>	A	A	B
まちづくり推進事業 【都市計画課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画道路東17丁目通の都市計画決定(変更)</li> </ul>	A	B	B
駅前通整備促進事業 【都市計画課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前通りまちづくり会議役員会の開催1回</li> <li>・岩見沢駅前通り地区景観形成事業(後退空地整備事業)補助金交付</li> </ul>	C	B	C
市営住宅建設事業 【建築課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ストック改善工事 美園団地2棟32戸 屋根・外壁改修</li> <li>・市営住宅解体工事 美流渡栄団地1棟2戸 志文団地10棟40戸</li> </ul>	A	A	B
民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロック塀等耐震改修等助成件数 1件(相談件数 10件)</li> <li>・広報による普及啓発</li> <li>・木造住宅耐震改修等助成件数 6件(診断3件、改修1件、建替2件)</li> </ul>	C	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		事業評価	3.1	B

### 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 市民連携活動事業 【市民連携室】	地域からの陳情・要望及び管理不全な空き家等の適正管理について、迅速かつ積極的な対応を行うとともに、横断的な連携により、地域の課題解決に取り組む。	3,627 (3.1人)	6,317 (3.1人)	8,433 (3.1人)
		25,947	28,637	30,133
都市計画総務事業 【都市計画課】	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための土地利用、都市施設の整備及び市街地開発などの計画を策定し、都市計画事業の総合的、一体的な誘導を図る。	801 (1.0人)	698 (1.0人)	631 (1.0人)
		8,001	7,898	7,831
重点 まちづくり推進事業 【都市計画課】	都市計画マスタープランの推進及び都市計画道路等都市計画施設の計画決定(変更)、公共サインの維持管理を行う。	10,857 (2.0人)	16,981 (2.0人)	3,710 (2.0人)
		25,257	31,381	18,110
都市計画基礎調査事業 【都市計画課】	都市計画法に基づく都市計画に関する基礎調査項目の更新を行い、土地利用の動向を把握する。	4,313 (0.5人)	4,360 (0.5人)	4,414 (0.5人)
		7,913	7,960	8,014

事務事業一覧

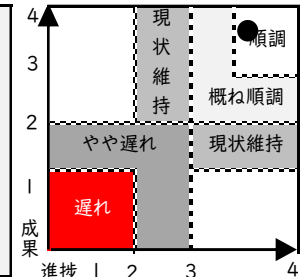
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
住居表示実施事業 【都市計画課】	住居表示に関する法律の基づく住居表示の実施や住居表示番号の決定、住居表示板等の維持管理を行う。	1,066	1,199	1,450
		(0.5人)	(0.5人)	(0.5人)
重点 駅前通整備促進事業 【都市計画課】	駅前通整備事業の推進に向けた地元合意の形成や、駅前広場に結節する駅前通り商店街の活性化に向けた、沿道街区の土地利用や街並みの景観形成等の地元活動を支援する。	4,666	4,799	5,050
		(1.0人)	(1.0人)	(1.0人)
市営住宅管理事業 【建築課】	住宅に困窮する低所得世帯に、需要の実態にあわせ低廉な家賃で住宅供給することにより、住生活の安定を図る。	2,255	2,421	3,910
		(1.0人)	(1.0人)	(1.0人)
市営住宅営繕事業 【建築課】	市営住宅建設後の年数経過や周辺環境の状況変化を考慮し、老朽化していく建物、住宅及び付帯施設を修繕・改善することにより、良い住環境を維持する。	9,455	9,621	11,110
		(1.3人)	(1.1人)	(1.3人)
北村勤労者住宅管理事業 【建築課】	市内の勤労者等へ住宅を供給することにより、住生活の安定を図る。	12,667	9,055	8,186
		(4.6人)	(4.3人)	(4.6人)
重点 市営住宅建設事業 【建築課】	市営住宅の安定供給及びストック住宅を活用する事業を実施する。	45,787	40,015	41,306
		(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	123,643	89,006	93,543
		(1.3人)	(1.1人)	(1.3人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	133,003	96,926	102,903
		(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	80,695	80,444	80,426
		(0.1人)	(0.1人)	(0.1人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	81,415	81,164	81,146
		(0.0人)	(0.0人)	(0.0人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	44	185	186
		(0.0人)	(0.0人)	(0.0人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	44	185	186
		(0.0人)	(0.0人)	(0.0人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	141,018	184,439	102,218
		(2.3人)	(2.1人)	(2.3人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	157,578	199,559	118,778
		(2.6人)	(2.5人)	(2.6人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	618	566	326
		(2.6人)	(2.5人)	(2.6人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	19,338	18,566	19,046
		(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	40	774	2,709
		(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)
重点 民間住宅耐震改修等助成事業 【建築課】	地震発生時に倒壊の危険性がある旧耐震基準で設計された木造住宅及び一定規模のブロック塀について、耐震診断・耐震改修費用の一部を助成することにより、耐震化の促進を支援する。	4,360	5,094	7,029
		(0.6人)	(0.6人)	(0.6人)

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	2	快適な道路環境の確保	
	快適かつ安全に利用できる道路環境を確保するため、国・道とも連携し、都市の骨格となる幹線道路や市民の暮らしを支える生活道路の整備を計画的に進めるとともに、老朽化した道路・橋梁の長寿命化を図るなど、適正な維持管理に努めます。		
担当課	建設管理課、土木課、都市計画課		



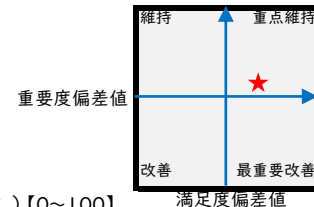
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	19.4			11位/32施策
重要度	0.533			4位/32施策

改善度
6.14
(7位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2018年調査：-22.88～20.26】

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
市道舗装率	66.2% (H28)	↗	舗装された道路延長の割合	66.7%	66.8%	67.1%		A
街路灯におけるLED照明設置基数	344基 (H28)	↗	街路灯のうち、LED照明を設置（又は取替）した基数	784基	973基	1164基		A
岩見沢都市計画道路舗装率	82.8% (H29)	↗	[整備済み延長]÷[計画道路延長]×100	83.5%	82.8%	84.7%		A
橋長15m以上の橋梁の修繕率	60.7% (H30)	↗	計画に基づく橋梁の補修割合	60.7%	67.9%	67.9		B
●成果指標の評価を4区分で評価（平均点）A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		3.8		A

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査による重要度は高く、街路灯については常に町会や近隣住民からの情報提供により、球切れや修繕等を行っているが、毎年度、計画的に寿命の長いLEDへの交換を積極的に実施している。</li> <li>・各種計画に基づいた整備又は修繕の実施により、着実な進捗が図られている。</li> <li>・都市計画道路舗装率は、西20丁目通の新規決定に伴い、未整備区間の北3条通を廃止したことにより、舗装率が上昇した。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街路灯におけるLED照明設置については、限られた予算の中で毎年度、平成28年度から継続的に行い、年間約200基を水銀灯等からLEDへ交換し、LED化率も年々上昇している。（R1=23.4% → R2=26.7%）</li> <li>・舗装率の向上による道路環境の改善、点検調査結果に基づいた修繕及び更新により、長寿命化の推進とLCCの縮減に寄与できた。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後において、全灯交換まで約10年掛かることから、計画的な実施が必要である。また、水銀灯は令和2年度で製造中止となったことから、早期の取替が必要となる。</li> <li>・交付金の減額等により事業が停滞しないよう各種起債を有効活用して財源を確保し、災害時も重要な道路網を今後も持続可能とするため、着実な事業実施に努める必要がある。</li> </ul>
-----------	---



## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
道路新設改良事業 【土木課】	道路改良L=3,589m 歩道造成L=78m 橋梁補修=2橋(2ヵ年工事) 防塵処理L=1,545m 側溝整備L=1,997m、道路照明灯LED化=174基	B	A	B
街路事業 【土木課】	東17丁目通:舗装工・のり面植生工 L=990m	A	A	A
●重点事業の評価を4区に分て評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価	3.7	A

## 事務事業一覧

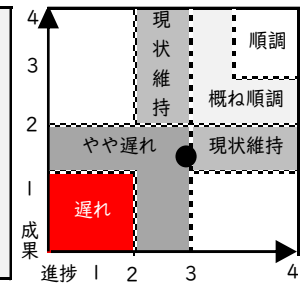
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
土木総務管理事業 【建設管理課】	建設部内の連絡調整及び公共事業における国・道との調整並びに開発予算要望の調整。 また、事業実施に係る入札・契約・建設部内の経理事務及び補助申請・精算事務の業務	1,486 (4.5人)	404 (4.5人)	207 (4.5人)
		33,886	32,804	32,607
道路管理事務所管理事業 【土木課】	道路・河川パトロールの実施 道路管理事務所、北村除排雪機械車庫、栗沢車両センターの維持管理 道路維持作業作業車の維持管理	4,495 (0.1人)	4,770 (0.1人)	4,597 (0.1人)
		5,215	5,490	5,317
道路管理事業 【建設管理課】	市道の認定・廃止及び区域の変更や供用開始等の告示、道路用地の寄附・売買等及び境界確認、道路施設や街路灯の管理・修繕並びに交通関連施設の管理、道路占用物件の許可	40,312 (3.0人)	44,272 (3.5人)	45,964 (3.0人)
		61,912	69,472	67,564
道路維持事業 【土木課】	道路排水施設等清掃、砂利敷き路面整正、跨線橋清掃、舗装補修、側溝補修、区画線設置工事、その他道路付帯施設の維持修繕を行い、道路環境の保全を実施。	418,722 (1.5人)	420,561 (1.5人)	411,819 (1.5人)
		429,522	431,361	422,619
重点 道路新設改良事業 【土木課】	道路改良事業:歩車道の改良舗装及び拡幅工事、橋梁修繕及び点検、道路照明灯LED化 道路緊急整備事業:防塵処理・側溝整備	1,510,681 (6.0人)	1,162,817 (6.0人)	1,621,404 (6.0人)
		1,553,881	1,206,017	1,664,604
橋りょう維持事業 【土木課】	道路橋の定期的な維持補修及び緊急的な修繕	1,938 (0.1人)	1,977 (0.1人)	1,879 (0.1人)
		2,658	2,697	2,599
重点 街路事業 【土木課】	都市計画法に基づく都市計画道路(街路)の整備	463,682 (2.0人)	601,600 (1.0人)	55,357 (1.0人)
		478,082	608,800	62,557

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	3	公共交通の利便性の向上 市民生活や交流の基盤となる公共交通の確保と利便性の向上を図るため、地域住民や交通事業者、関係自治体と協力しながら、利用者のニーズに即した路線バスの運行や新たな公共交通の導入などの取組みを進めることにより、総合的な公共交通体系を確立するとともに、住民意識の醸成と利用の促進に努めます。	
担当課	企画室		



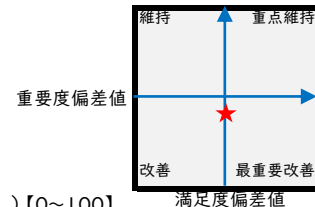
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	12.0			20位/32施策
重要度	0.461			17位/32施策

改善度
4.13
(12位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
市内路線バス利用者数	114万人 (H28)	↗	バスの市内線に乗車した人数(1乗車を1人として計上)	85万人	85万人	60万人		D
JR利用者数(岩見沢駅)	9,084人 (H26)	↗	JR岩見沢駅における1日の乗降者数	9,588人 最新H29	9,400人 最新H30	9,124人 最新R1		C
公共交通を利用する市民の割合	新規	↗	通勤、通学、買い物、通院等で公共交通機関を利用している市民の割合	26.0%	R3調査 予定	R3調査 予定		-
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		1.5	C	

※★印は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものとなっています。

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査による重要度は高く、施策の充実に対する関心は高いが、満足度は相対的に低い傾向にあり、改善度が高くなっている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の全国的な拡大に伴い、休校、テレワークの普及、観光客の減少、外出の自粛等によって、市内路線バスをはじめ、公共交通の利用者は減少している。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用促進の取組み                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭線Instagramアカウントを開設し、室蘭線の利用方法を募集する「室蘭線インスタお出かけコンテスト♪」を開催し、23名30点の投稿があった。</li> <li>・デマンド型乗合タクシー栗沢西地区内の運行地域を拡大(R2.12～、R2利用件数174便、利用者数187人)</li> </ul> </li> <li>○岩見沢市地域公共交通計画の策定                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の「岩見沢市地域公共交通網形成計画」の計画期間が令和2年度をもって終了することから、新たな本市公共交通のマスタープランとして「岩見沢市地域公共交通計画」の策定を進めた。※策定は令和3年6月</li> </ul> </li> </ul>
-------	--

課題と今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>【内部評価】</li> <li>・少子高齢化や免許返納者数の増に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の大幅かつ急激な減少により、公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にある。</li> <li>・「岩見沢市地域公共交通計画」に基づき、通勤や出張等における公共交通利用の啓発や、小学校等を対象とした出前授業の実施、これまでバスを利用していなかった年代層等、ターゲットを絞った、路線バス等の新たな利用方法の提案等の取組みを進めていく。</li> </ul>
-----------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
生活交通確保対策事業 【企画室】	デマンド型乗合タクシーの運行 岩見沢北地区、岩見沢西地区(2地区)、栗沢西地区の計4地区で運行。 R2年度運行実績:利用者数187名(便数174便 ※乗合利用は12便)	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価	3.0 B	

## 事務事業一覧

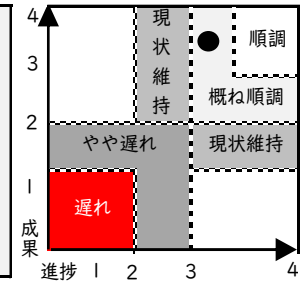
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 生活交通確保対策事業 【企画室】	JRや路線バスなどの維持や利用促進に取り組むとともに、これらの公共交通機関の利用が難しい地域はデマンド型乗合タクシー等でカバーするなど、民間事業者と協力して面的な公共交通ネットワークの構築に取り組む	78,586 (1.7人)	83,500 (1.7人)	93,310 (1.7人)
		90,826	95,740	105,550
特定地方交通線転換 関連事業 【企画室】	特定地方交通線(万字線・幌内線)廃止に伴い設置した転換促進関連施設の維持管理及び転換関連事業基金運用利子の積立を実施	4,092 (0.5人)	3,859 (0.5人)	4,851 (0.5人)
		7,692	7,459	8,451

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	4	上下水道の適正な運営	
	上水道においては安全で良質な水の安定供給、下水道においては居住環境の向上と公共用水域の水質保全の確保を基本とし、施設の更新・長寿命化を計画的に進めるとともに、効率的な維持管理を通じた健全経営の維持に努めます。		
担当課	廃棄物対策課、業務課、水道課、下水道課		



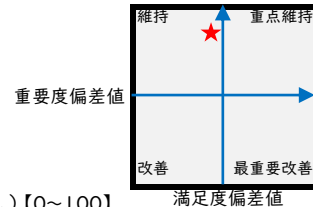
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	35.0			3位/32施策
重要度	0.444			20位/32施策

改善度
-15.36
(30位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2018年調査：-22.88～20.26】

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
基幹管路の耐震適合率	29.55% (H28)	↗	[基幹管路耐震適合管延長]÷[基幹管路延長]×100	32.39%	33.17%	34.59%		A
公共下水道水洗化率	98.45% (H28)	↗	[水洗化人口]÷[処理区域内人口]×100	98.98%	99.13%	99.17%		A
水道有収率	82.86% (H28)	↗	配水量に対して、水道料金の対象となった水量の割合	82.95%	81.80%	82.53%		A
送・配水管耐震化率	12.3% (H29)	↗	[送・配水管の耐震延長]÷[送・配水管総延長]×100	12.9%	13.6%	14.0%		A
配水池耐震化率	76.3% (H29)	↗	[耐震化能力]÷[全施設能力]×100	76.3%	93.7%	93.7%		B
下水道重要管路の点検調査率	0.0% (H29)	↗	[調査実施済みの管路延長]÷[管路総延長]×100	1.8%	2.1%	2.1%		B
雨水排水整備率	31.2% (H29)	↗	[雨水整備面積]÷[雨水整備対象区域面積]×100	31.4%	31.4%	31.4%		B
●成果指標の評価を4区分で評価（平均点）A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		3.6	A	

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路の耐震適合率と送・配水管耐震化率については、老朽管の更新により上昇している。</li> <li>・公共下水道水洗化率については、水洗化への改造が見込まれない住宅を除いては、概ね達成できている。</li> <li>・水道有収率については、漏水調査で探しきれない地下漏水が無数に点在していると思われる。</li> <li>・下水道重要管路の点検調査率については、交付金の減額により進捗率が低い状況である。</li> <li>・雨水排水整備率に関しては、計画していた浸水対策事業が完了したことから横ばいとなっている。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・影響の大きい重要な管の更新に注力した結果、基幹管路の耐震適合率のほうが生・配水管耐震化率より上昇幅が大きくなっている。</li> <li>・新築住宅、建て替えや改造時の水洗化により、水洗化率は上昇している。</li> <li>・有収率対策として、流量計の増設及び漏水調査を実施し、漏水箇所の早期発見と迅速な修繕工事を行うことで昨年度より有収率が向上した。</li> <li>・雨水整備率は横ばいとなっているが、進めていた浸水対策事業については当初計画のとおり完了した。</li> <li>・南光園処理場の共同汚水処理施設（MICS施設）において、より衛生的で効率的な尿及び浄化槽汚泥等の受入処理を行った。</li> <li>・岩見沢市生活排水処理基本計画に基づき、下水道整備区域外の合併処理浄化槽の設置に対し、設置資金補助を行った。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹管路の耐震適合率と送・配水管耐震化率については、工事経費率や労務単価、資機材単価の上昇による工事費増大への対応が課題となるが、効率的な更新に努めていく。</li> <li>・未水洗化家屋に対する、水洗化への指導・啓発により、さらなる水洗化率の向上を目指す。</li> <li>・下水道重要管路の点検調査率が低調に推移している一方で、老朽率は年々上昇していくことから、下水道施設全体の老朽化状況を考慮し、ストックマネジメント計画等のリスクスケジュールを進める。</li> <li>・雨水排水整備率については、計画していた排水区的面整備が完了したため、今後は下水道施設の耐水化に向けた計画を策定する予定である。</li> <li>・文向台衛生センターは、水道部・環境部連携のもと、解体に向けた実施設計と関係機関との協議を行った。今後、汚泥等の施設内清掃を行い、継続的に国の補助金を活用し解体工事を進める。</li> </ul>
-----------	---



## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
し尿処理事業 【廃棄物対策課】	し尿等の受入実績(生活排水処理基本計画におけるR2推計値:7,660kℓ) 【H30】し尿 5,891kℓ 浄化槽汚泥 4,028kℓ 農集汚泥 1,053kℓ 計 10,972kℓ 【R1】し尿 5,450kℓ 浄化槽汚泥 4,106kℓ 農集汚泥 1,117kℓ 計 10,673kℓ 【R2】し尿 5,298kℓ 浄化槽汚泥 3,829kℓ 農集汚泥 974kℓ 計 10,101kℓ	B	B	B
地域水洗化事業 【廃棄物対策課】	合併処理浄化槽設置の補助金交付及び融資あっせん実績 ※補助限度額 【H30】補助金交付 14基 融資あっせん 1基 5人槽: 840千円 【R1】補助金交付 20基 融資あっせん 1基 7人槽: 980千円 【R2】補助金交付 14基 融資あっせん 0基 10人槽:1,250千円	B	A	A
桂沢水道企業団出資金 【業務課】	桂沢浄水場更新事業(事業期間 H28年度~R3年度) 総事業費 96.2億円(2年度末90億円:進捗率93.6%) 岩見沢市出資金 H28 420,600千円 H29 579,600千円 H30 319,100千円 R1 607,300千円 R2 94,100千円	A	A	A
送水管・配水管整備事業 【水道課】	整備延長 【H30】送水管784.0m 配水管6651.7m 計7435.7m 【R1】送水管457.6m 配水管6742.3m 計7199.9m 【R2】送水管577.4m 配水管4401.8m 計4979.2m	B	B	B
下水道築造事業 【下水道課】	社会資本整備総合交付金事業について、事業調整や令和2年度補正を積極的に活用し、事業進捗を図った。(国費充当率:当初66.5%→最終85.5%)	B	B	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 A 十分である B 概ね十分である C やや不十分である D 不十分である 【有効性】 非常に有効 有効 やや有効でない 有効でない 【効率性】 改善の余地なし 概ね効率が良い 改善の余地あり 大きく改善の余地あり		事業評価	3.3	B

## 事務事業一覧

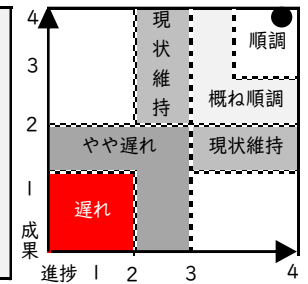
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
重点 し尿処理事業 【廃棄物対策課】	南光園処理場内にある共同汚水処理施設(MICS施設)において、し尿(汲み取り)及び浄化槽汚泥(清掃)等の衛生処理を行う。	0 (0.0人)	35,973 (0.2人) 37,413	34,924 (0.2人) 36,364
重点 地域水洗化事業 【廃棄物対策課】	岩見沢市生活排水処理基本計画に基づき、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。	12,909 (0.0人) 12,909	20,687 (0.5人) 24,287	14,072 (0.5人) 17,672
汚水処理施設共同整備事業 【廃棄物対策課】	し尿処理施設(文向台衛生センター)について、廃止に向けた汚水処理施設内の汚泥清掃及び施設の解体等を行う。			41,000 (0.3人) 43,160
重点 桂沢水道企業団出資金 【業務課】	平成28年度から開始された桂沢浄水場更新事業に伴い、桂沢水道企業団の構成市として、一般会計から企業団に対し出資を行っている。	319,100 (0.0人) 319,100	607,300 (0.0人) 607,300	94,100 (0.0人) 94,100
農業集落排水事業費 【業務課】	農業用排水の水質保全、農業用排水施設の機能維持に寄与するため、農業集落排水施設の適正な維持管理に努める。	47,593 (2.0人) 59,553	60,019 (2.0人) 72,809	68,159 (2.0人) 82,802
重点 水道事業会計 【業務課】	老朽化した送水管・配水管を寿命が長く耐震性のある管に更新し、安全な水の安定供給に努める。	1,438,470 (19.0人) 1,566,538	1,469,805 (18.0人) 1,586,682	1,466,549 (17.0人) 1,575,853
重点 下水道事業会計 【業務課】	下水道施設の計画的な改築及び下水道汚泥肥料の利用を今後も継続し、地域を支える持続可能な下水道の推進を図る。	2,236,958 (7.0人) 2,264,144	2,269,730 (7.0人) 2,297,812	2,241,941 (9.0人) 2,286,260

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	5	緑豊かなまちづくりの推進 地域の特性や市民のニーズに対応した公園・緑地の計画的かつ適正な維持管理に努めるとともに、市民や民間事業者との協働による緑の街並みづくりや保全活動を推進することにより、本市の特性を活かした緑あふれる都市空間の形成を図ります。	
担当課	環境保全課、公園緑地環境課		



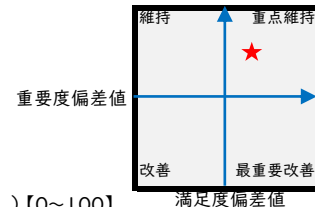
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	30.7			5位/32施策
重要度	0.506			8位/32施策

改善度
<b>-5.44</b>
(26位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合（数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。）【0～100】
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化（数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。）【-1～1】
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化（数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。）【2018年調査：-22.88～20.26】

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
市民1人当たりの都市公園面積	42.3㎡ (H28)	↗	[開設都市公園面積]÷[行政区域人口]	42.9㎡	44.1㎡	44.7㎡		A
年1回以上、公園・緑地を利用する市民の割合	新規	↗	普段の生活で、年1回以上、公園や緑地を利用している市民の割合	46.8%	R3調査 予定	R3調査 予定		-
●成果指標の評価を4区分で評価（平均点）A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		4.0		A

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査による重要度は高く、施策の充実に関する関心、満足度も相対的に高い傾向にあり、改善度が低くなっている。</li> <li>・指標（市民1人当たりの都市公園面積）の動向については、人口の減少に伴う増加であると分析する。</li> </ul>
----	--

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ばらのまちづくり推進事業において、市民協働による駅前広場・中央公園・東18号花壇・バラ街道のバラ管理を実施した。</li> <li>・公園造成事業において、岩見沢市公園施設長寿命化計画に沿った遊戯施設等の改築更新（鳩が丘公園ほか）を当初計画通りに実施した。</li> <li>・利根別原生林保全事業において、利根別自然公園大正池の堤体及び付帯施設の整備を当初計画通りに実施した。また、利根別自然公園の整備（木橋・木道等の更新）を当初計画通りに実施した。</li> </ul>
-------	---

課題と今後の方向性	<p>【内部評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各重点事業において、計画通り順調に進捗していると判断できる。</li> </ul>
-----------	---

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
ばらのまちづくり推進事業 【公園緑地環境課】	・市民協働による駅前広場・中央公園・東18号花壇・バラ街道のバラ管理	A	A	A
公園造成事業 【公園緑地環境課】	・老朽化した公園施設の計画的な更新 都市公園長寿命化対策 改築更新(鳩が丘公園ほか) 玉泉館跡地公園木道の更新等	A	A	A
利根別原生林保全事業 【公園緑地環境課】	・利根別原生林の保全・活用 大正池復旧工事(堤体・付帯施設整備) 利根別自然公園整備工事(木橋・木道等の更新)	A	A	A
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		事業評価	4.0	A

## 事務事業一覧

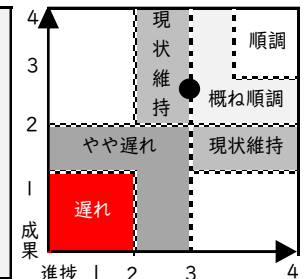
(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		H30実績	R1実績	R2実績
墓地霊園管理造成事業 【環境保全課】	市民の墓地需要に応えるため霊園の墓所貸出を行うとともに、合同納骨塚の使用許可業務を行うほか、緑が丘霊園ほか市営墓地の管理運営を行う。	18,134 (1.5人)	17,397 (1.5人)	17,832 (1.5人)
		28,934	28,197	28,332
重点 ばらのまちづくり推進事業 【公園緑地環境課】	バラ愛好団体等、各種ボランティア団体との協働で駅前広場、駅東市民広場及びいわみざわ公園に至るバラ街道にバラの植栽と管理育成など、市の花「バラ」を核とした市民主導のまちづくりを支援する。	13,404 (0.5人)	10,518 (0.5人)	10,647 (0.5人)
		17,004	14,118	14,247
公園管理事業 【公園緑地環境課】	都市公園198箇所、農山村地域公園13箇所の維持管理を行う。	364,994 (2.0人)	393,860 (2.0人)	401,855 (2.5人)
		379,394	408,260	419,855
重点 公園造成事業 【公園緑地環境課】	誰もが安全に利用できる公園・緑地の施設造成を計画的かつ総合的に実施し、安らぎある施設の形成を目的とした遊戯施設・休養施設等の更新を行う。	87,017 (1.0人)	74,116 (1.0人)	97,246 (1.0人)
		94,217	81,316	104,446
重点 利根別原生林保全事業 【公園緑地環境課】	「岩見沢市緑の基本計画」に基づき、大正池を含む利根別原生林のすぐれた自然環境を保全し、保有する様々な機能の活用を図る。	146,406 (1.0人)	113,285 (1.0人)	169,796 (1.0人)
		153,606	120,485	176,996
緑化推進事業 【公園緑地環境課】	公園の樹木や街路樹等身近な緑を育て、増やすと共に、適正な維持管理を行う。	64,670 (1.0人)	69,043 (1.0人)	70,127 (1.5人)
		71,870	76,243	80,927
緑の環境保全教育事業 【公園緑地環境課】	岩見沢市の代表的な緑のすぐれた環境である利根別原生林の環境保全を図るため、将来環境活動を担う若年層(小学生)を対象に、環境意識を高める教育を利根別原生林をベースに推進する。	4,822 (0.5人)	4,032 (0.5人)	3,928 (0.5人)
		8,422	7,632	7,528

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	6	環境の保全と循環型社会の形成	
	環境保全に対する意識啓発や自然エネルギーの推進、ごみの発生の抑制と再利用の推進等の総合的な環境施策を推進することにより、市民と事業者、行政が一体となって、環境への負荷の少ない社会の構築を目指します。		
担当課	環境保全課、廃棄物対策課		



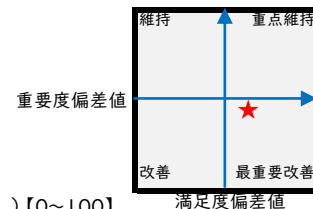
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	15.5			16位/32施策
重要度	0.509			7位/32施策

改善度
6.50
(6位/32施策)

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の度合いが高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
太陽光発電システム導入補助件数	6件 (H28)	↗	岩見沢市太陽光発電システム導入補助金交付要綱に基づく補助件数	8件	13件	11件		C
家庭系一般ごみの市民1人1日当たりの排出量	466g (H28)	↘	[家庭系一般ごみ排出量(g)]÷[住民基本台帳人口]÷[年間日数]	482g	492g	502g		D
家庭系廃棄物の資源分別率	88.8% (H28)	↗	資源ごみとして適正に分別排出された割合	78.0%	80.2%	87.4%		A
集団資源回収実績	2,791t (H28)	↗	雑誌・新聞紙・アルミ缶等の集団資源回収量	2,507t	2,353t	2,106t		D
公共施設の節電実績(最大需要電力2010年比)	15.0% 削減	↘	岩見沢市地球温暖化防止実行計画に基づく	13.1% 削減	14.2% 削減	19.1% 削減		A
公共施設の節電実績(電気使用量2010年比)	10.2% 削減	↘	岩見沢市地球温暖化防止実行計画に基づく	8.6% 削減	10.2% 削減	11.7% 削減		A
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが昨年度より向上 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		2.7	A	

分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム導入に伴う売電単価が年々低下している中で、胆振東部地震におけるブラックアウトの経験により関心が高まっている。</li> <li>・家庭系一般ごみの市民1人1日当たりの排出量は、人口減少に比例して家庭系ごみの排出量が減少していないため、現状値と比較し36g増加している。家庭系廃棄物の資源分別率は、資源ごみが燃やせるごみとして排出されている割合(組成分析)が上昇しており、資源ごみが適正に排出された割合は現状値より1.4ポイント低いものの年々改善されている。集団資源回収実績は、取り組み意識の希薄化と紙媒体の書籍等の減少により年々回収量が減少しており、現状値と比較し687t減少している。</li> <li>・公共施設の節電実績については、施設利用者の増加や新型コロナウイルスの対応で換気用扇風機等の稼働により電気使用量が増加した施設があるが、全体的には概ね前年よりも節電されている。</li> </ul>
----	---

取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの影響により子ども環境バスツアー等各種イベントを中止したが、環境パネル展や環境美化標語のごみステーションへの掲示、チラシ配布による自然エネルギーの活用や省エネの普及啓発活動により、環境保全に対する市民意識の向上を図った。</li> <li>・ごみのよりよい始末を進める市民会議等と協働し、クリーンエコでの啓発(環境フェスタ・衣類のくるくる市での啓発:R2中止)を通じて、ごみ減量化と正しい分別方法を周知するとともに、生ごみの堆肥化(ダンボールコンポスト)等のごみの再資源化を推進した。また、クリーンエコの資源物回収品目の拡充(リチウムイオン電池、電子たばこ等)を図り、利用者の利便性の向上を図った。収集日カレンダー(10～9月)を全戸配布し、収集日を守ることや分別意識を高めることの習慣化を促しており、混入割合の高い「紙類」について、正しい分別方法を改めて周知するとともに、ごみ情報紙「Think ECO」を町内回覧するなど、資源化意識の向上を図った。ごみステーションへの不適正排出については、改善が図られない場合は開封調査を行い指導を行うほか、不法投棄を発見した際に通報しやすいよう市ホームページに不法投棄通報フォームを設け、また、町会・警察と連携して不法投棄禁止の「のぼり」を設置するなどの対策を講じた。</li> </ul>
-------	--



課題と今後の方向性	【内部評価】
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム導入補助については、当面は現状を継続するが、売電価格の低下などで太陽光発電のみに対する補助の需要低下が予想されることから、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)に対する補助などの検討が必要である。</li> <li>・家庭系一般ごみの市民1人1日当たりの排出量は年々増加しており、改善に向けたポイントは、“生ごみ減量・資源ごみ増量”とし、①生ごみの水切り、②食品ロスの削減、③プラごみ・紙類の適正排出について重点を置き、市民への啓発を進める。また、市広報・ホームページ・出前講座等を活用し、改めて「分別ルールの徹底」と「ごみ減量化」の意識を高めるとともに、環境や家計への負担が軽くなることを周知する。さらに、集団資源回収の有効性を周知し、「燃やせるごみ」や「燃やせないごみ」として資源物を排出している住民に対し、「町会実施」の集団資源回収に資源物を出すように促すとともに、リサイクルステーションの設置を進めるため各種助成制度の周知を積極的に進める。</li> <li>・公共施設の節電については、省エネ機器への更新など、地球温暖化防止に向けた対策を推進する必要がある。</li> </ul>

### 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
環境対策事業 【環境保全課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境講座 1回 ・環境美化標語応募者 1,626人 ・まちなか環境美化活動 30人</li> <li>・環境美化の日活動 43団体 ・環境パネル展 5箇所</li> <li>・さけ稚魚飼育 46箇所、放流壮行会(事務局のみで実施)</li> <li>・親子でエコクッキング、子ども環境バスツアー、環境フェスタは新型コロナウイルスの影響により中止</li> </ul>	B	B	B
ごみ処理対策事業 【廃棄物対策課】	ごみ排出量 家庭系ごみ 事業系ごみ 計 【R1】17,484t 7,306t 24,790t うち家庭 一般ごみ:14,546t・資源ごみ:2,938t 【R2】17,414t 6,875t 24,289t うち家庭 一般ごみ:14,578t・資源ごみ:2,836t 【増減】 △70t △431t △501t 【増減】 32t △102t ※R1組成分析 燃やせるごみ:89.63%(うち生ごみ:58.03%) 燃やせないごみ:97.50% R2組成分析 燃やせるごみ:94.28%(うち生ごみ:48.05%) 燃やせないごみ:93.74%	B	B	B
ごみ減量化推進事業 【廃棄物対策課】	主な活動実績 クリーンエコ啓発(開設日数296日)、コンポスト・ダンボールコンポスト講座(3回:受講者数を制限して開催)、環境フェスタ、衣類のくるくる市、生ごみ減量化及びごみの資源化推進のための啓発活動(街頭啓発)はコロナ禍のため開催を見送り	C	A	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		事業評価		3.0 B

### 事務事業一覧

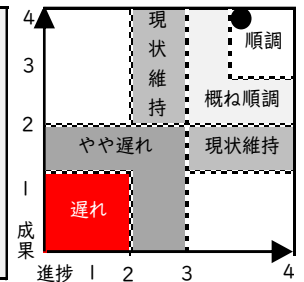
(単位:千円)

重点	事務事業名	事業概要	事業費		
			上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
			H30実績	R1実績	R2実績
重点	環境対策事業 【環境保全課】	地球温暖化対策や循環型社会の構築、環境保全のため、イベントなどを 通じ市民一人ひとりの意識の高揚を図るとともに、温室効果ガスの排出 抑制等を促進する取組みを実施し、市民が安全・安心で快適に暮らせる 環境にやさしいまちづくりを推進する。	10,609 (2.0人)	11,063 (2.0人)	9,459 (1.5人)
			25,009	25,463	20,259
重点	環境衛生対策事業 【環境保全課】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狂犬病予防法の改正により、平成12年度から犬の登録、狂犬病予防 注射済票の交付が、道から当市へ移譲されており、畜犬登録や狂犬病 予防注射の推進を図る。</li> <li>・スズメ蜂の巣の駆除やあき地の草刈りを励行し、良好な生活環境を確 保し、また、犬による危害防止に努め、市民生活の安全を図る。</li> </ul>	7,910 (2.5人)	7,595 (2.5人)	8,514 (2.0人)
			25,910	25,595	22,914
重点	公害対策事業 【環境保全課】	公害の早期発見や未然防止のために、各種調査・測定等を定期的に実 施するとともに、各種環境法令に基づき公害の発生源となる可能性の ある施設・作業等を常時把握する。また、公害苦情についての調査・対応を 行う他、公害が発生した場合には、被害拡大を防ぐための対応等を行 う。	6,668 (1.5人)	6,918 (1.5人)	7,441 (1.5人)
			17,468	17,718	18,241
重点	ごみ処理対策事業 【廃棄物対策課】	ごみ処理三原則(廃棄物の減量・廃棄物の再利用・自然にやさしい処 理)を推進し、清潔で住み良い環境づくりを進める。一般家庭から排出 されるごみや資源を迅速かつ適正に収集、衛生的に処理するとともに、 プラスチック製容器包装の廃棄物をはじめとするごみの減量化・資源化 をさらに促進し、不適正対策への指導と対策を講ずる。	1,382,672 (7.0人)	1,337,193 (6.5人)	1,393,478 (6.8人)
			1,433,072	1,383,993	1,442,438
重点	ごみ減量化推進事業 【廃棄物対策課】	ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量・再資源化(減量行動:7R)に 取り組み、循環型社会の形成をめざす。”ごみのよりよい始末を進める市 民会議”等と協働し、環境フェスタなどのイベントやグリーンエコの運営を 通じ、ごみ減量化・再資源化の普及啓発を進めるとともに、町会や家庭 などでの取組みの支援を行う。	21,271 (2.0人)	24,239 (2.0人)	19,171 (2.0人)
			35,671	38,639	33,571

【外部評価意見】	
----------	--

# 令和3年度 岩見沢市施策評価シート

基本目標	5	自然と調和した快適で暮らしやすいまち	評価結果
基本施策	7	地域情報化の推進 本市の特性である高度ICT基盤のもと、市民や企業のニーズを把握し、産業、教育・子育て、健康・医療・福祉、防災・安全・安心等の様々な分野における地域課題の解決に向けた施策を展開することにより、市民生活の質の向上と地域経済の活性化を目指します。	
担当課	市民連携室、企業立地情報化推進室		



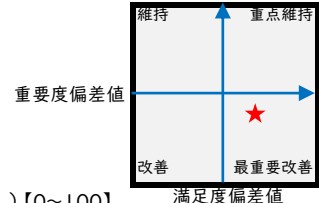
## 目標達成状況

### 【市民意識調査結果】

年度	H30 (2018)	R3 (2021)	R8 (2026)	順位
満足度	11.4			22位/32施策
重要度	0.540			3位/32施策

改善度	12.97
(4位/32施策)	

【満足度と重要度による相関図】



- ・満足度～全回答数に占める満足と回答した割合(数値が大きくなるほど満足度の割合が高くなります。)[0～100]
- ・重要度～施策全体の満足度と個別施策の満足度の相関関係により指標化(数値が大きくなるほど施策全体の満足度との関係性が強く、重要度が高くなります。)[-1～1]
- ・改善度～重要度に対する満足度の水準から改善の必要性を指標化(数値が大きくなるほど改善の必要性は高く、数値がマイナスの場合は改善の必要性が低いことを示します。)[2018年調査:-22.88～20.26]

### 【成果指標】

指標名	現状値	方向性	指標の説明	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	評価
ICTの利活用状況 (市民生活の質の向上)	新規	↗	生活面におけるICT利活用機能件数及び利用数(教育、医療、健康等)	6機能 21,772件	7機能 24,171件	10機能 24,879件		A
ICTの利活用状況 (経済活性化)	新規	↗	経済活動面におけるICT利活用件数及び利用数(農業、ヘルスケア等)	5機能 515件	5機能 611件	5機能 749件		A
●成果指標の評価を4区分で評価(平均点) A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 A:現状値及び昨年度ともに向上 B:現状値及び昨年度とほぼ同数 C:現状値より向上したが、昨年度より低下 D:現状値及び昨年度ともに低下 現状値より低下したが、昨年度とほぼ同数				成果指標評価		4.0	A	

**分析**

- ・スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末の普及、5G、AI、IoT、ビッグデータ、フィンテック、ロボットなどSociety5.0社会の実現の鍵となる新たな技術革新により、人口減少などの課題対応や利便性の向上への期待から、その重要度は年々高くなっていると考えられる。
- ・市民意識調査による満足度に関しては11.4%(22位)と低いものの、ICT利活用機能の一つである小学生の児童見守りシステムは98.8%以上の児童に利用されるとともに、アンケート(令和2年度実施)では95%以上の保護者から安心感が得られたとの回答があるなど、サービス利用者の満足度は高い。
- ・市民意識調査による施策に対する重要度の高さでは、近年のICT技術の飛躍的な向上もあり、地域における情報化の推進に対する市民要求水準が上がっていることが伺えるため、利便性向上に向けた新たなサービスや様々な分野における機能の充実など、利用数拡大を図っていくことで、満足度の向上に繋がるとも考えられる。

**取組と成果**

- ・市民生活の質の向上、経済活性化それぞれの分野での利用数は増加し、新たな機能として、音声による119番通報が困難な聴覚・言語機能障害者が円滑に消防への通報を行えるようにする「Net119緊急通報システム」、新型コロナウイルス感染症防止対策として病院の入院患者と直接面会が出来ずに不安に思われている方々に対するタブレットを使用した「リモート面会サービス」、大雨や融水期における初動体制の強化などを目的とした排水路等の水位監視システムを実装した。
- ・農村地域の情報通信環境の向上を図るデジタル・デバйд対策として、教育や医療、健康、防災、さらにはスマート農業などへの利活用も期待される地域BWAサービスでは、新たに基地局を8基地局構築し、志文・上志文・栗沢町の一部エリアにおいてサービスを開始した。(基地局数:計21基地局、サービスエリア:北村全域、岩見沢及び栗沢町の一部)
- ・市内農業生産者216名による「いわみざわ地域ICT農業利活用研究会」を中心とする生産者ニーズをもとに取り組みを進めているスマート農業分野では、北海道大学、NTTグループ3社による産学官連携協定を基軸に、総務省及び農林水産省の委託事業を通して、5Gやローカル5G基地局の構築を図り、労働力不足の解消や生産性の飛躍的向上による持続可能な農業を目指すための遠隔監視制御によるロボット農機の実証実験をはじめ、ロボット農機のシェアリングなどによる導入コスト削減に係る検証を行った。

**課題と今後の方向性**

【内部評価】

- ・人口減少や高齢社会による担い手不足や需要の低下による域内消費の低迷、買い物や公共交通などの生活機能の低下といった課題に加え、昨今の新型コロナウイルスの感染拡大により、非対面型のコミュニケーションやサービスなど、市民生活、産業活動に新たな課題やニーズが生じるなど、ICTを活用したサービスや重要度は増していることから、民間の通信事業者によるFTTHサービス拡大を含めた情報通信環境の最適化に向けた取り組みを進めるとともに、スマート農業、テレワーク等による就業促進による産業の生産性向上と、農村地域における買い物機能や公共交通機能など、ICTを活用した各種サービス・機能の実装により、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進を図る。
- ・ICTを活用した各種サービス・機能の実装にあたっては、利用数拡大の取り組みはもとより、認知度を高める取り組みも併せて行うことで、定住意向や満足度の向上に向けて努めていく。

## 重点事業の実績

事務事業名	事業の実績	評価		
		達成度	有効性	効率性
高度情報通信基盤整備事業 【企業立地情報化推進室】	・地域BWA基地局の構築に必要となる自営光ファイバの支線等の整備(光ファイバ敷設工 L=7.3km、通信線柱設置工 26本、各種情報設備設置工 3基地局) ・地域BWA基地局8局を構築(既設分も含め計21基地局) ・自営光ファイバ延長 計210.275km (※前年度(R1)計207.365km(2.91kmの増)) (内訳:8.219kmの増及び△5.309kmの減) ・公共施設用ネットワーク機器の高度化及び更新(スイッチ8台ほか)	A	A	A
ICT活用型総合戦略推進事業 【企業立地情報化推進室】	・地域特性であるICT環境による地域や市民生活面での様々な課題解決を図るための産学官による検討及び検証を実施(農業・除排雪分野1件、ICT基盤の高度化2件、スマートシティの実現分野3件) ・ICTを活用した在宅型就業、企業ニーズに基づいた専門的なIT技術の修得による人材育成・就業、職業訓練型研修などの実施(研修修了者計63名、うち就業者27名、求職活動・その他36名)	B	A	B
●重点事業の評価を4区分で評価(平均点)A:4点 B:3点 C:2点 D:1点 【達成度】 【有効性】 【効率性】 A 十分である 非常に有効 改善の余地なし B 概ね十分である 有効 概ね効率が良い C やや不十分である やや有効でない 改善の余地あり D 不十分である 有効でない 大きく改善の余地あり		事業評価		3.7 A

## 事務事業一覧

(単位:千円)

事務事業名	事業概要	事業費		
		上段:事業費 中段:職員数 下段:総事業費(人件費含む)		
		H30実績	R1実績	R2実績
地上デジタル放送難視聴地区解消事業 【市民連携室】	地上デジタル放送が視聴できない地域に、無線共聴設備を設置・維持管理することにより難視聴解消をする。	951 (0.1人)	1,369 (0.1人)	4,337 (0.1人)
		1,671	2,089	5,037
地域情報化推進事業 【企業立地情報化推進室】	ICTの利活用によるさらなる「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を目指し、自治体ネットワークセンターや自営光ファイバネットワークなどの高度情報通信基盤を活用し、市民の安全安心な生活の確保や健康支援に関するサービスの充実を図るとともに、地場産業である農業分野における新たな取り組みを推進するなど、市民や企業等がICTの恩恵を享受するためのさまざまな施策を展開する。	19,812 (3.5人)	23,775 (3.5人)	18,999 (3.5人)
重点 高度情報通信基盤整備事業 【企業立地情報化推進室】	ICT利活用による「市民生活の質の向上」と「地域経済の活性化」を図るために必要不可欠となる高度情報通信基盤の整備を積極的に進めるとともに、当該基盤の安定かつ効率的な稼働のための適切な運用管理を行う。	124,514 (1.0人)	234,989 (1.0人)	190,642 (1.0人)
		131,714	242,189	197,842
自治体ネットワークセンター管理事業 【企業立地情報化推進室】	地域情報通信拠点施設としての役割をもつ自治体ネットワークセンターの効率・効果的な施設機能の運用及び維持・管理。 ・衛星系情報受発信センターにて遠隔学習の実施 ・各種貸室業務、セミナーの開催など	55,413 (0.0人)	45,898 (0.0人)	54,806 (0.0人)
		55,413	45,898	54,806
重点 ICT活用型総合戦略推進事業 【企業立地情報化推進室】	地域特性であるICT環境の活用による地方創生を目指し、産学官連携のもと新たな利活用サービスの構築やサービスに必要となる人材の育成など、関連する取組みを有機的に連携させながら展開する。	40,896 (2.0人)	47,458 (2.0人)	56,336 (3.0人)
		55,296	61,858	77,936

【外部評価意見】	
----------	--